次世代につなげる森林づくり

NO．３８号
令和３年１１月８日

森林技術・支援センター

OJT研修会開催
（令和3年10月18・21日）いの町黒滝山・高松市鷹山
～匠の技術を未来につなげて～

集約化試験団地にて、*若手職員を対象としたコウヨウザン苗木の植付等のOJT研修*を実施しました。

黒滝山(いの町)、鷹山（高松市）の両試験団地で、コンテナ苗導入の状況、植栽本数や補植・改植の考え方を、コンテナ苗を植栽する器具ごとの特徴や使用方法等について説明を行いました。そのあと実際に植栽作業を体験するため、早生樹の造林技術の確立試験区でコウヨウザンの植栽作業を行いました。
手慣れた様子で苗木を植える職員もいれば、伐採後の造林地に初めて足を踏み入れる職員もおり、急な斜面の移動にも悪戦苦闘しながら、１本１本丁寧に作業を体験をしてもらいました。

研修生の声
今回の研修に参加した感想

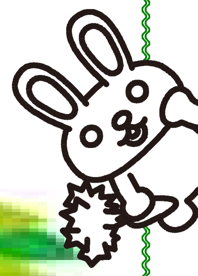
・植穴をまっすぐ開けるのが意外と難しかった。
・苗木と植付器具をどう持ち運べば効率的なのか、作業条件により変わってくるのかなど実際に体験して感じた。
・数本植えるだけで腰が痛くなり、造林作業の大変さがわかった。
・専用器具を使わなくても鍬でコンテナ苗を植えることができるとわかった。
・石が多く植穴を開ける場所を見つけるのも一苦労で、時間がかかった。
・普段経験することのない作業で楽しかった。

各試験区の概要説明に対する疑問点

・どの単木保護資材が、生分解性なのかわかりにくかった。
・資材の回収はどうするのか。
・ノウサギの忌避剤はどういったタイプのものか。また、その効果は？

当局では、再造林でコンテナ苗を使用することが一般的になってきています。
しかしながら、植付箇所の傾斜や土壌の違いにより、適した器具を選定することが作業の効率化や体力的な負担軽減につながると考えています。
今回のように職員が実体験をすることで、よりコンテナ苗を活用した植栽作業を理解し、身近に感じてもらえる研修になったと考えています。

～丁寧に植えた苗木がすくすく成長するように
美しい国土を作っていく職員になってもらえるように～



＊各種試験等についての問い合わせは

四国森林管理局　森林技術・支援センター
℡088-821-2250　　Fax088-821-4839
E-mail　shikoku_gijyutu@maff.go.jp